

令和 4 年度第 5 回理事会及び第 2 回合同会議議事録

1. 日時：令和 4 年 8 月 9 日（火）

第 5 回理事会 午後 6 時 30 分～午後 7 時 45 分

第 2 回合同会議 午後 7 時 45 分～午後 9 時 00 分

会 場：Web 会議

出席者：中川理事長、芳本副理事長、井阪理事、射場理事、村西理事、千葉監事、
大井局長、辻畑局長、田籠局長、大槻局長

書 記：北野

【議題】

I. 令和 4 年度第 5 回理事会議題

1. 承認事項

- 1) 令和 4 年度第 4 回理事会議事録
資料参照のうえ承認された。

2. 報告事項

- 1) 各局事業進捗報告
各局長より報告があった。
大井局長より、第 4 回生涯学習研修会の決算収支は今月中に完了する予定との報告があった。

3. 審議事項

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴うセンター事業の開催方式の変更について (ML 審議)
村西理事より大阪における新型コロナウイルス感染者数が増加している状況であり、センター（生涯学習局）事業において、当初対面開催を予定していた研修会・講習会の講師および参加者から対面参加が困難になったとの報告があった。今後もこのような状況は想定されるため、感染状況を踏まえて、開催形式を変更する場合は、主催者側が担当局に報告し、担当局から理事会に報告する流れで対応する。本件は、役員 ML にて審議、承認されており、理事会にて改めて追認された。
- 2) センター（研修部）主催研修会について (ML 審議)
村西理事より資料の通り報告があった。本件は、役員 ML にて審議、承認されており、理事会にて改めて追認された。
- 3) 令和 5・6 年度の理事及び監事の員数について
井阪理事より、理事の人数を現行の 5 名から 8～9 名に増員し業務負担を減らす必要があること、センター運営の適法をより堅実にするべく監事を 2 名に増やす提案があった。増員については前向きに検討するが、増員の根拠を具体的に示すべきであるとの意見もあった。本件については継続審議となった。
- 4) 【継続審議】講師謝金及び受講料の規程改定について
井阪理事より、前回の理事会では講師料の源泉徴収に関する追記が提示されたが、新たに市区町村士会研修事業 1 及び 2 に関する規定の見直しとスライド等資料作成不要の講義に関する講師料の項の追加が提示された。本件は審議の結果承認され、事務局から市区町村士会事務局に発信していく予定である。
- 5) 臨床実習前後の評価におけるワーキンググループの立ち上げ、進行計画について
射場理事より大阪府下養成校における実習生の水準を担保するために、大阪府下の各養成校から教員を 1 名推薦し、ワーキンググループを立ち上げ、「臨床実習前後の評価（特に臨床実習前）」に関する基準を作成していくとの意見があった。他の理事より参加しない学校が出てくる可能性があるため、最低何%の学校が賛同すると進行計画を進めていくのかを検討するべきであるとの意見があった。

学校側と臨床側が水準を合わせる必要性があるため臨床の人にも参加してもらうべきであるとの意見もあった。本件は、審議の結果、継続審議となった。

6) 大阪府理学療法士連盟の研修会申請について

村西理事より、大阪府理学療法士連盟の会員は、府士会・センター会員とは別扱いになるため、「主催」研修会ではなく「承認」研修会として扱う。

「承認」研修会マニュアルおよび開催要件に従って企画を行う。本来申請先は所属先市区町村士会になるが、本件は主催者代表が所属先市区町村士会長を兼任されているため、申請先はセンター研修部とする。あくまで、学術に関する研修企画に対して承認することとし、研修内容に政治的内容（勧誘・誘導）がある場合は、以後の研修会について承認しないものとする。ただし、研修内容以外の企画については、この限りではない。本件は審議の結果、承認された。

7) センター（研修部）主催研修会 研修会区分および講師基準案（ML 審議）

村西理事よりセンター（研修部）主催研修会 研修会区分および講師基準案について説明があった。本件については、役員 ML にて審議承認されており、本理事会にて追認となった。

8) 医学中央雑誌刊行会への総合理学療法学の著者抄録利用許諾について

村西理事より以下の通り説明があった。医学中央雑誌刊行会より、データベース作成の上で「総合理学療法学」の掲載論文内「要旨」を医中誌 web 書誌情報の一つとして掲載したい旨の依頼があり、本件は審議の結果、承認となった。尚、【許諾利用料※】1 件 400 円（1 回のみでの支払）※医学中央雑誌間公会からセンターへ支払われる。

4. その他

II. 令和 4 年度第 2 回合同会議 議題

1) 令和 5 年の新年互例会について

- ・岩見副会長より予約状況等進捗について説明がなされた。
（意見）
- ・現在は 2 類相当の感染症なので、この状況では控える方がいいのではないかと。
- ・感染拡大はあるが、開催できる方向でも考えてもいいのではないかと。
- ・定数（66 名）なので、もし開催するなら役員理事も含めての定数なので、誰のために開催するのか選定するのが難しくないかと。
- ・互例会なので、我々の事情だけではできない。他団体の見識や社会情勢がどうなのか。今の段階で考えるなら、今年度は中止とする方がいいのではないかと。
- ・食事をなしにするということも検討してもいいのではないかと。
（審議結果）
- ・今回は「見送りとする」とした。
（今後の検討事項）
- ・令和 6 年については他団体との兼ね合いより 1 月 11 日を予定。
- ・次年度以降については、食事などの開催方式を含めて、ウィズコロナの中でもできる方法を再度検討していく。
- ・次年度以降の検討は、合同事業なので両会より準備委員を決めて進めていく。

2) 対面、実技研修開催について

- ・松岡理事より現状の開催指針について説明される。
- ・村西理事より講師の事情等の喫緊の課題について説明され、研修開催指針について意見を求めた。
（意見）
- ・承認研修会は主催する団体が（センターとは）別となる。その際に、主催団体の意向がこの開催指針と異なる場合はどうするのか。
- ・センターに承認を申請するということは「ポイント」を承認してもらうことにある。

- ・「ポイント」を取得したいのであれば、指針にあわせてもらう旨でいいのではないか。
- ・承認申請時の条件として、指針に従ってもらう旨を入れておけばいいのではないか。
- ・既に「実技」として承認した研修会に対して、どこまで提示できるのか。
- ・提示の際は、参加者の不利益を考えた上で、ハイブリット開催等の指針にあった方法を選択してもらうように説明すればいいのではないか。

3) 総会のあり方について

- ・中川理事長より今の総会のあり方について、公開方法や代議員への情報伝達方法など見直ししてもいいのではないかと提案がなされた。

(意見)

- ・総会を会員一般にも公開して府士会活動を知ってもらうようにするのは賛成です。
- ・代議員への情報伝達については、協会が各都道府県士会の代議員に送付している形で府士会でもできたらいいかと考えています。
- ・代議員、一般会員にも、もっと府士会事業について（総会前の総会資料のみではなく）日頃から伝達できる方法を検討していくとした。

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西壽祥	職名	生涯学習局理事
議題	新型コロナウイルス感染拡大に伴うセンター事業の開催方式の変更について（メール審議）		
内容及び提出趣旨	<p>（提出趣旨）</p> <p>現在、大阪における新型コロナウイルス感染者数が増加している状況であり、センター（生涯学習局）事業において、当初対面開催を予定していた研修会・講習会の講師および参加者から対面参加が困難になったとの報告がきている。</p> <p>今後もこのような状況は想定されるため、感染状況を踏まえて、開催形式が変更する場合は、主催者から担当局に報告を行い、担当局から理事会に報告する形を提案するので、審議いただきたい。</p> <p>なお、現時点で変更希望の報告がでているものは下記となる。</p> <p>開催日時：令和4年9月4日（日） 講習会：スポーツフィールドにおける理学療法の実践 ～導入から実例紹介～ 主催者：木下和昭氏（四條畷学園大学）</p> <p style="text-align: right;">添付資料：なし</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	本件については、役員MLにて審議承認され、本理事会で追認となった。		
備考	対応部局または理事氏名 生涯学習局理事 村西 壽祥		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	事務局担当理事
議題	令和5・6年度の理事及び監事の員数について		
内容及び提出趣旨	<p>先月7月に第1回目選挙管理委員会が開催され、センターの令和5・6年度の役員数について照会がありました。令和5・6年度の役員選挙に向けて、理事及び監事の員数についてご意見をお願い致します。</p> <p>センター定款には理事員数は3名以上15名以内(定款第22条)、監事員数1名以上3名以内(定款第24条)と規定されています。</p> <p>選挙の日程(予定)</p> <ul style="list-style-type: none">○選挙告示 : 令和5年1月23日(月)○立候補受付開始 : 令和5年1月30日(月)正午○立候補締切 : 令和5年2月6日(月)正午○投票期間 : 令和5年3月5日正午～3月19日正午○開票 : 令和5年5月19日(日) <p style="text-align: right;">添付資料:有</p>		
理事会での意見・内容等	理事の人数を現行の5名から8～9名に増やし業務負担を減らす必要があるとの意見があった。また、センター運営の適法をより堅実にするべく監事を2名に増やす提案があった。増員については前向きに検討するが、増員の根拠を具体的に示すべきであるとの意見もあった。本件については継続審議となった。		
審議結果	継続審議となった。		
備考	対応部局または理事氏名 事務局担当理事 井阪 美智子		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	事務局担当理事
議題	【継続審議】講師謝金及び受講料の規程改定について		
内容及び提出趣旨	前月の第4回理事会にて第2条（講師謝金の支払い）に伴う税金処理についての記載が源泉徴収税についての言及がなく、不明確であったため、新たに、第2条3項を追記することにしましたが、講師謝金対象の詳細についても見直すことで継続審議となりました。ご審議のほどお願い致します。 資料：有		
理事会での意見・内容等	事務局から市区町村士会に発信していく予定。		
審議結果	審議の結果、承認された		
備考	対応部局または理事氏名 事務局担当理事 井阪 美智子		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場一寛	職名	教育局 理事
議題	305 事業 臨床実習教育基準 臨床実習前後の評価におけるワーキンググループの立ち上げ、進行計画について		
内容及び提出趣旨	<p>新指定規則でも規定されている通り、臨床実習前に実習生の技術等に関して実技試験等による評価を行い、総合的知識及び基本的技能・態度を備えていることを確認する必要がある。</p> <p>大阪府下養成校における実習生の水準を担保するために、大阪府下の各養成校から教員を1名推薦いただき、ワーキンググループを立ち上げ、「臨床実習前後の評価（特に臨床実習前）」に関する基準を作成していきたいと考えます。</p> <p>ワーキンググループの立ち上げ、及び進行計画について、ご審議のほど、よろしくお願い致します。</p> <p>添付 305 臨床実習教育基準 WG ロードマップ.pdf R4 予算 305 臨床実習教育基準.xlsx</p>		
理事会での意見・内容等	参加しない学校が出てくる可能性があるため、最低何%の学校が賛同すると進行計画を進めていくのか検討するべきであるとの意見があった。学校側と臨床側が水準を合わせる必要があるため臨床の人にも参加してもらうべきであるとの意見があった。		
審議結果	審議の結果、継続審議となった		
備考	対応部局または理事氏名 教育局担当理事 射場 一寛		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西 壽祥	職名	生涯学習局理事
議題	大阪府理学療法士連盟の研修会申請について		
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨) 大阪府理学療法士連盟（企画局局长：稲村氏）より登録、認定・専門理学療法士の更新ポイント/点数の申請に関する問い合わせが届いている。 事務局に確認のうえ、大阪府理学療法士連盟の研修会申請に関して以下を承認要件として提案するので審議いただきたい。</p> <p>審議内容 ①大阪府理学療法士連盟の会員は、府士会・センター会員と同一ではないため、「主催」研修会としては認めず、「承認」研修会としての扱い、「承認」堅守会マニュアルおよび開催要件に従って企画を行う。ただし、申請先はセンター研修部とする。 ②あくまで、学術に関する研修企画に対して承認することとし、研修内容に政治的内容（勧誘・誘導）がある場合は、以後の研修会について承認しないものとする。ただし、研修内容以外の企画については、この限りではない。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：なし</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	審議の結果、承認された		
備考	対応部局または理事氏名 生涯学習局理事 村西 壽祥		

令和4年度 第5回理事会

提出日：令和4年8月1日

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西 壽祥	職名	生涯学習局理事
議題	センター（研修部）主催研修会 研修会区分および講師基準案（メール審議）		
内容及び 提出趣旨	(提出趣旨) メール審議について、文言を修正したので、追認をお願いしたい。 添付資料：あり		
理事会での 意見・内容等			
審議結果	本件については、役員 ML にて審議承認され、本理事会で追認となった。		
備考	対応部局または理事氏名 生涯学習局理事 村西 壽祥		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西 壽祥	職名	生涯学習局理事
議題	医学中央雑誌刊行会への総合理学療法学の著者抄録利用許諾について		
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨) 医学中央雑誌刊行会より、データベース作成の上で「総合理学療法学」の掲載論文内「要旨」を医中誌 web 書誌情報の一つとして掲載したい旨の依頼があったので、了承するか否かをご審議いただきたい。 【許諾利用料※】1件400円(1回のみ)の支払 ※医学中央雑誌間公会からセンターへの支払い料</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	審議の結果、承認された		
備考	対応部局または理事氏名 生涯学習局理事 村西 壽祥		